

3

防災の第一歩は 家具対策から

～危険な家具から身を守るには～



家具はこわい!

地震が起こるたびに、くりかえし語られるのが家具のこわさ。地震で家は壊れなくても、多くの家で、家具が倒れたり、転がりだしたりしています。地震によって家具はどんな動きをするのでしょうか？

本物の家具を使った実験の映像を見てみましょう。そのこわさがるははずです。



危険な家具から身を守る、3つのポイント

地震対策の第一歩は、家具対策から。地震で暴れた家具に襲われないためにはどうすればよいかを学びましょう。

危険な家具をできるだけ身のまわりに置かない

寝室や子ども部屋には倒れやすい家具を置かないようにしましょう。どうしても必要な場合は、家具を置く場所をよく考えてください。



家具の上でできるだけものを置かない

家具が倒れなくても、上に置いたものが落ちてきてケガをします。阪神・淡路大震災では、家具の上に置かれたものの7割以上が落ちてしまったといわれています。



家具を固定すること

家具は地震のときに動かないように固定しておくことが大切。まずは、壁や天井にしっかりと固定すること。でも、その天井や壁が弱くてはなんにもなりません。きちんと固定できる方法を学びましょう。

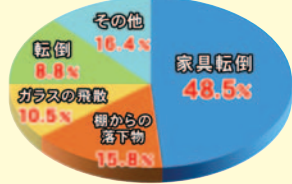


キーワード

～家具は人を襲う!～

阪神・淡路大震災では、ケガをした人の半分が家具によるものでした。特にマンションのような高い建物で家具による被害がたくさんでています。

室内でのケガの原因



タンス、テレビ、冷蔵庫、ピアノ・・・
家の中にはいろいろな家具があるよね。



それぞれ正しく固定して安全・安心。
くわしい方法はDVDを見てね!



そうなる前の防災対策